＜総合振興計画進行管理表＞

施策評価表
（行政分野別計画）

1．基本事項

作成日 平成29年07月24日(月)

施策	子どもが健やかに育つ環境づくり	期間	H.25 ～H.29	施策担当部課名	こども青少年課

総合振興計画				施策の概要（目的や対象）
行政分野別計画	大項目	000002	安心して健康に暮らせる福祉のまちづくり＜保健・福祉＞	子育ての孤立を防ぐため、子どもに関わる関係機関の多様なネットワークを強化し、子育て力のある地域社会を目指します。子育てする親が精神的に孤立しないよう、家庭訪問や家庭児童相談体制の充実を図り、子育て支援事業やサービスなどをＰＲし、子育て不安が軽減され、安心して子育てできる地域社会の形成を図ります。
計画施策	中項目	000003	子育て支援の充実	
	小項目	000003	子どもが健やかに育つ環境づくり	
基本戦略		000004	少子高齢社会をこころ豊かに暮らせるまちづくり	
主要プロジェクト		000003	次代を担う人づくりプロジェクト	

		施策の推進のための主な取り組み
重要度及び満足度の状況	子育て支援に対する市民の重要度は高く、満足度はやや低くなっています。	子育て中の親に対する精神的支援の充実
		虐待防止のための連携の強化
施策を取り巻く社会状況等	少子化、核家族化、共働き世帯の増加などの社会環境の変化により、家族や地域での子育て機能が低下し、子育て世代の社会的ストレスや不安が増しており、児童虐待の要因となっています。	ファミリーサポートセンター事業の推進

2．評価指標

区分	指標名（上段） 算出式・説明（下段）	単位	指標値（上段は目標値・下段は実績値） 計画初期値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
成果指標	子育て・育児に心理的負担感がある保護者の割合	%	-	20.00	18.00	15.00	13.00	10.00
	３歳児健診アンケートより集計		0.00	20.00	13.00	7.00	2.50	0.00
	児童虐待発生件数	人	-	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00
	虐待対応件数		29.00	29.00	12.00	31.00	61.00	0.00
	要対協検討事例延件数	件	-	290.00	290.00	290.00	290.00	290.00
	要対協実務者会議検討事例延件数		291.00	283.00	259.00	299.00	372.00	0.00
			-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

3．一次評価(今後の施策の方向性)

区分	1	1：現状維持　2：拡充　3：縮小

＜評価コメント＞

子育てを負担に感じる保護者の割合は減少しているが、虐待対応件数や要対協実務者会議での検討事例延数は増加している。大部分の家庭においては、良好な育児がなさていると考えられるが、一部の家庭においてはより頻回で継続的な支援が必要となっている。支援が必要な家庭は問題が複雑かつ困難な場合が多く、より一層関係機関との連携を強化し、情報の共有と対応の方向性の統一を図り対応することが必要である。

評価者	こども青少年課長　小林　利夫

4．改善・改革プラン（3．一次評価を受けての具体的な改善策）

区分	
■	既存事業の拡充
□	事業の新規立案
□	事業の廃止・縮小
□	事務事業の再編
□	その他

具体的な対応策等

虐待対応件数、要対協実務者会議での検討事例延数が増加しており、支援が必要な家庭に対し、関係機関の連携のもと対応することを継続する。また子育て相談に携わる関係機関が連携が図れるよう新たなネットワークの構築を行っていくことが必要である。

また、相談窓口の周知に関しては、既存の方法のほか、モバイルを活用した情報提供を検討する。

5．二次評価

＜所属長の見解＞

児童虐待の対応については、現在も要対協を中心とし、関係機関が連携を図り情報共有をしつつ対応を行っている。しかし対応事例等の増加に伴い今後も継続したより密な連携が求められる。また早期から、虐待につながる可能性がある育児不安や支援が必要な家庭を発見、介入をするために、児童相談窓口を持つ関係機関の新たなネットワークを構築し、問題が重篤化する前に適切な機関で適切な支援が提供できるよう努めていくことが必要である。

所属長	こども未来部長　新堀　浩一